

FEC (EPI+CPA+5-FU)

【エピルビシン+シクロホシファミド+フルオウラシル】

【適応】 乳がん

術前・術後補助：4コース

進行・再発：4-6コース（前治療でアントサイクリン系薬剤を使用していない場合）

【使用薬剤】 ※ 薬品名は一般名で表記しています

エピルビシン〔注〕【略号：EPI】

シクロホシファミド〔注〕【略号：CPA】

フルオウラシル〔注〕【略号：5-FU】

【スケジュール】

		Day	1	...	8	...	15	...	21
EPI	100 mg/m ² 点滴静注 全開		●						
CPA	500 mg/m ² 点滴静注 30分		●						
5-FU	500 mg/m ² 点滴静注 15分		●						

1コース期間：21日

【治療内容】

● 各コース共通 Day1

内服	アピルタカゲル 125mg 抗がん剤投与1時間前	1回1cp	吐き気予防
1	グラセド点静注パック 3mg/100mL デキメタゾン注 6.6mg/2mL 点滴静注 30分	1袋 1v	吐き気予防
2	エピルビシン注 生理食塩液 50mL 点滴静注 全開	100 mg/m ² 1瓶	抗がん剤
3	生理食塩液 50mL 点滴静注 全開	1瓶	フラッシュ用
4	シクロホシファミド注 生理食塩液 100mL 点滴静注 30分	500 mg/m ² 1瓶	抗がん剤
5	フルオウラシル注 5%ブドウ糖注 50mL 点滴静注 15分	500 mg/m ² 1瓶	抗がん剤

● 各コース共通 Day2-4

内服	アピロチン 80mg 1日1回 朝食後 2日分	1回1cp	吐き気予防	
内服	テモタリジン錠 4mg 1日2回 朝・夕食後 3日分	1回1錠	吐き気予防	

※ 吐き気予防の薬は、患者様の状態や既往などにより投与日数や投与量が変わることがあります

【注意する副作用】

- ◆ 骨髄抑制（白血球・好中球減少、貧血、血小板減少）
 - ◆ 悪心・嘔吐
 - ◆ 食欲不振
 - ◆ 口内炎
 - ◆ 味覚異常
 - ◆ 下痢
 - ◆ 便秘
 - ◆ 脱毛
 - ◆ 心毒性
 - ◆ 出血性膀胱炎
 - ◆ 尿の着色
 - ◆ 手足症候群
- など